



インターネットでの情報提供	
提供予定日	6月9日

平成22年6月8日 県政記者クラブ配布			
関係部課及び企業	担 当	担 当 者	電話番号
商工労働部 商工政策課	新産業・新エネルギー担当	三輪 康典	直通058-272-8354 内線3088
株式会社アーカイブス	取締役 総支配人	豊川 豊	0575-73-0103

次世代エネルギーパーク(クックラひるがの)がオープンします (取材依頼)

県では、今後最も成長が期待されるエネルギー・環境分野における新たな産業創出を目指した取り組みを進めております。

その一環として、次世代エネルギーの有用性を県民の皆様にご体験していただくため、昨年8月に経済産業省の認定を受けた「次世代エネルギーパーク」の商業施設モデルとして、太陽光発電や燃料電池、電気自動車等の設備を「クックラひるがの」(設置運営：株式会社アーカイブス)整備し、一般公開することとなりましたので、お知らせします。

岐阜県の次世代エネルギーパークは、「花フェスタ記念公園」(5月19日オープン)に続き、県内で2ヶ所目となります。

記

1 オープニングセレモニーについて

(1)日時 平成22年6月17日(木) 14:00～14:30

(2)会場 クックラひるがの(タワーホール) 郡上市高鷲町鷲見5294番地1

(3)出席者等

<主催者>

株式会社アーカイブス 代表取締役 三津橋 卓彦(みつはし たくひこ)

<来賓>(予定)

- ・中部経済産業局
- ・郡上市
- ・地元県議会議員
- ・岐阜県(商工労働部長)

(4)内容

主催者あいさつ、来賓あいさつ、テープカット、施設見学

(5)その他

セレモニーへの一般参加は可能です。

また、オープニングに併せ、次のイベントを開催予定です。

- ・電動アシスト自転車の試乗会 6月17日(木)～20日(日)
- ・電気自動車の試乗会 6月17日(木)
- ・特産品等の特売会 6月17日(木)～20日(日)

2 次世代エネルギーパーク（クックラひるがの）の概要（別添資料参照）

（1）「クックラひるがの」について

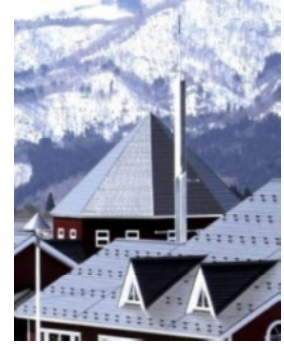
○所在地 郡上市高鷲町鷲見5294番地1

○設置者 株式会社アーカイブス

代表取締役 三津橋 卓彦

○概要

- ・東海北陸自動車道「ひるがの高原サービスエリア」に隣接し、自動車道からはスマートインターチェンジによりアクセスできる複合商業施設。地域の活性化を目的に、地元民間資本により整備された。
- ・チーズ工房、クリスタル工房、地元特産品や野菜の直売所、ギャラリー、飲食店など13の店舗とプチホテル（12室44名収容）で構成。
- ・「スキー場」、「牧歌の里」（花と緑と牧場のテーマパーク）等の観光施設に近接した地域の観光拠点でもある。



（2）設備の特徴

複数のエネルギー資源や新しい技術を組み合わせる「ベストミックス」という考え方のもと、「太陽光発電」と「燃料電池」によって電気と熱を供給し、余った電気を「蓄電池」で安定化させ、「電気自動車」に供給するというモデルを、県内の民間商業施設として初めて構築。

（3）設置する設備

「クックラひるがの」のシンボル棟「タワーホール」を中心に、次の設備を設置。

○エネルギーの供給設備

- ・太陽光発電（3.2kW）
- ・燃料電池（0.75kW）
- ・ガスコージェネレーション（4.5kW）
- ・これら各設備の余剰電力の貯蔵システム

（14kWh）を備え、系統電力に極力依存しない電気エネルギー需給を実証。

○エネルギーの活用

- ・LED照明
- ・ショーケース（特産の「ひるがの高原アイスクリーム」等を冷蔵）
- ・電気自動車用充電設備
- ・レンタル電動アシスト自転車用充電設備（新たに5台を導入し、ひるがの高原のサイクリング等に活用）
- ・燃料電池等の廃熱エネルギーは、高原を見渡せる屋外に新設された「足湯」（定員6名程度）に供給。建屋には県産材（ひのき）等を使用。

また、豪雪地帯のため、冬には排熱を「融雪」にも活用。

- エネルギーの発生状況や利用状況、CO2削減効果、システムの仕組みなどについて楽しみながら学べる表示システムも設置。



3 今後の取り組み予定

(1) 「次世代エネルギーパーク」等を活用したモデルツアーの企画実施

夏休みには、「次世代エネルギーパーク」と、「三洋ソーラーアーク」などの新エネルギー関連施設、更には既存の観光資源も組み合わせた「夏休み 新エネルギー体験 親子バスツアー」（6コース、定員245名）を8月1日より実施予定。

(2) 「次世代エネルギーインフラ」の拡大

今年度中に、県内のハウスメーカーと連携した「家庭モデル」、JR岐阜駅アクティブGを中心とした「都市モデル」、小水力発電や木質ストーブを加えた「中山間地」モデルへと取組みを拡大。

4 その他

○ 「次世代エネルギーパーク」について

- ・ 経済産業省（資源エネルギー庁）は、新エネルギーをはじめとした次世代のエネルギーについて、実際に国民が見て触れる機会を増やすことを通じ、国民の理解を深めるため、太陽光等の次世代エネルギー設備や体験施設等を整備した「次世代エネルギーパーク」を推進。
- ・ 地方自治体等を対象に、計画を公募・認定・公表し、PR等を行っており、平成22年4月1日現在、全国で25件を認定。
- ・ 岐阜県の「次世代エネルギーパーク」は、「花フェスタ記念公園」（公共施設モデル）と「クックラひるがの」（商業施設モデル）の2施設で構成。2つの施設が連携し、より多くの方々に次世代エネルギーに関する理解を深めていただきます。